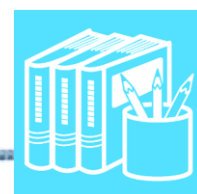




お片付け教育カリキュラム

「おかたづけの大切さを知ろう」



ガイドー式



目次

全体の概要	1
授業1 やってみよう つくえの中の整理・整とん	
概要	3
進行ガイド	4
ワークシート1ガイド	8
ワークシート2ガイド	9
授業2 教室のかたづけをしよう	
概要	11
進行ガイド	12
ワークシート1ガイド	16

おかたづけの大切さを知ろう

小学校中・高学年対象 / 総合的な学習の時間、家庭科(5・6年) / 2時間

●授業の概要

具体的な場面を設定し、どうして整理・整頓・片付けをしなければならないのかを考えさせ、児童自ら必要性を認識する内容です。また実習活動を行うことで、教室で使うものの整理・整頓・片付けの方法を習得するとともに、実施をしたあとの快適性についても体感し、今後の学校・家庭生活での実践への意欲につなげます。

カリキュラムは、

- 整理・整頓・片付けの意味・必要性を理解する
- 整理・整頓・片付けをする上でのポイントを理解し、その方法を習得する
- 整理・整頓・片付けについて、学習したことを今後の学校、家庭生活でも実践してみたいという意欲を持つ

をねらいとし、2授業で構成されています。

小学校 中・高学年を対象にしていますが、学校やクラス・児童の状況に応じ、アレンジして実施していただくことも可能です。

●学習指導要領での位置づけ

【総合的な学習の時間(総則)】(第3 総合的な学習の時間の取扱い より)

2 総合的な学習の時間においては、次のようなねらいをもって指導を行うものとする。

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。

【家庭科】(第2章 第8節 2 各学年の目標及び内容 より)

目標 (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付くようにする。

内容 (6) 住まい方に関心をもって、身の回りを快適に整えることができるようにする。

ア 整理・整とんや清掃を工夫すること。

イ 身の回りを快適に整えるための手立てや工夫を調べ、気持ちよい住まい方を考えること。

●授業の構成

教室を快適な空間に保つために、整理・整頓・片付けの方法を習得する活動を取り入れ、児童がそれぞれの活動の違いを理解し、主体的に取り組めるような構成となっています。

授業1 やってみよう つくえの中の整理・整とん(45分)

整理が出来ていない状態の実感から入り、整理の意味・必要性を理解する。また整理の手順を理解し、実際に身近な自分の机の中を整理・整頓することで、その方法を習得し、快適性を実感する。

授業2 教室のかたづけをしよう(45分)

片付けが出来ていない状態の実感から入り、片付けの意味・必要性を理解する。また、実際に教室の片付けをする中で、その方法を習得し、快適性を実感する。空間を快適にするための方法には掃除の他にも、整理・整頓・片付けなどの活動があることを知る。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・創意工夫	技能・表現
授業1 やってみよう つくえの中の整理・ 整とん	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 整理・整頓の 意味・必要性 が分かる ➤ 整理のポイント が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 整理・整頓に関心 をもち、意欲をもつ て身近な場所の整 理・整頓をする 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 机の中のものにつ いて必要なものと、 そうでないものの 判断ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 机の中の整理・整 頓ができる
授業2 教室のかたづけをし よう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 片付けの意 味・必要性が 分かる ➤ 片付けのポイ ントが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 片付けに関心をも ち、意欲をもって 身近な場所の片付 けをする 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 片付けるために、 戻す場所を決める ことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教室の整理・整 頓・片付けができ る

授業1 やってみよう つくえの中の整理・整とん

授業1では、整理・整頓への関心を高め、その必要性を学習します。また児童一人ひとりが管理している机の中を整理・整頓する活動を通して、その方法を習得し、快適性を実感させます。

進行概要

	min	概要
導入	5	整理への関心を高める
展開	15	整理の意味・必要性を理解する 整理の手順を理解する
実習	20	机の中のを整理・整頓する
まとめ	5	学習したことを振り返る

使用教材

	タイトル	仕様	概要	使用	
①	スライド教材 (やってみよう つくえ の中の整理・整とん)	Microsoft® PowerPoint®	13 画面	授業の流れに従って児童の活動を導く、授業進行に活用する教材	教師
②	ワークシート 1 (やってみよう つくえ の中の整理・整とん)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	整理・整頓について確認し、感想を書き留めるシート	児童
③	ワークシート 2 (必要、必要でないカード)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1/2 枚	授業の中の実習で使用するカード	児童

準備物



- 配付資料: ワークシート 1
ワークシート 2
※A4 サイズに2セット並べていますので、切り分けてお使いください。
- 機 材 :
・パソコン (スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター
- そ の 他:
・必要でないものを、家庭に持って帰るための袋
※必要であれば、児童一人ずつに用意、もしくは持参させて下さい

「やってみよう つくえの中の整理・整とん」 進行ガイド

	使用教材		流れ
導入 5分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●整理への関心を高める ●活動の目的を明確にし、見通しをもたせる
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが、部屋を汚くしていたら、どんな風に注意されますか？ ※片付けなさい、きれいにしなさい、掃除しなさい などの答えが予想される ・片付けなさいとか、きれいにしなさいとか言われますよね？みんな、できていますか？難しいかな？ ※できている、できてない、難しい、難しくない などの答えが予想される <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど、いろいろ出てきました。でもいったいどうして、片付けたりきれいにしたりしなくてはいけないのでしょうか。今日と次の時間で、どうしてなのかを考えながら、教室やお部屋を気持ちよくする活動をみんなで勉強しましょう <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈机の中のものを取り出す〉</p> <p>机の中からいろいろなものを取り出して、同じものを出すのに時間の差が出ることを体感させる</p> <ul style="list-style-type: none"> * テンポよく、楽しく実施してください * ものさし、下敷き、色鉛筆、のり、はさみなど、お道具箱の中に入れてあるもので探しにくいものだと差が出やすい </div> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなは、毎日机の中のものを出したり入れたりしていますね。必要なものをすぐに出すことができますか？それとも時間がかかっていますか？ <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今から先生が言うものを机の上に出してみましょう。 ・・・ものさしを出してください(いろいろなものを取り出す) ※早く出す子と、遅く出す子の様子を見る <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じものを取り出すのに、すぐに出せた人もいれば時間がかかった人もいました。今日は、どうしたらみんながさっとものを取り出せるようになるのか、それがなぜ大切なのかを考えます。 ※ものさしなど出したものを片付ける
展開 15分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●整理の意味・必要性を理解する
		進行・教師の投げかけ	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈下敷きを取り出す〉</p> <p>整理ができていない箱からは、必要なものを取り出しにくいことを実感させる</p> <ol style="list-style-type: none"> ①Aの箱は、帽子や関係のないものが入っている ②Bの箱は、整理整頓されている <ul style="list-style-type: none"> * スライドだけでなく、実物の箱を用意してもよい </div> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここに、箱が2つあります。Aの箱と、Bの箱です。ここから下敷きを取り出そうと思います、どちらの箱が取り出しやすいでしょう？ ※下敷きが見えているかどうか注目させる

<p>入れなくてもいいものを取り出す</p> <p>整理する</p> <p>◆そこに必要なものかどうかを考える</p> <p>◆必要でないものを取りのぞく</p> <p>ワークシート1-1)</p>	<p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【説明】 ・そうですね。Bの箱が取り出しやすいですね。どうしてBの方が取り出しやすいのでしょうか。 ※見つけやすい。見えているから。一番上にあるから。など</p> <p>【発問】 ・どうしてAの箱は下敷きが見つけにくいのでしょうか？ ※箱に入れなくてもいいもの(帽子・ボール・コップ袋・ゴミなど)に気づかせる</p> <p>【説明】 ・Aの箱は、箱に入れる必要のないものが入っているからですね。 では、Aの箱から帽子やボール、コップ袋、ゴミを出してみましょう。すっきりして、下敷きが見つけやすくなりましたね</p> <p>【説明】 ・今みんなは、箱に入れる必要のないものを見つけて、箱から出しましたね。このように、<u>そこに必要なものかどうかを考えること、そして必要でないものを取り除くことを整理</u>と言います。ワークシートに書きましょう ※整理の意味を理解する ※ワークシート1-1)に記入させる</p>
<p>まずは練習！</p> <p>つくえの中のを整理しよう！</p> <p>つくえの中に必要でないものは？</p> <p>必要でないものを取りのぞく</p> <p>取りのぞくときのポイント！</p> <p>ゴミ箱に 別の場所に</p> <p>ワークシート1-2)</p>	<p>ねらい</p> <p>●整理の手順を理解する</p> <p>【説明】 ・それでは、みんなで整理の練習をしてみましょう。これらは、机の中に必要なものかどうかを考えてみましょう</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈机の中の見直し〉 スライドの絵を見て、机の中に必要でないものがあることに気づかせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捨てるもの(ゴミ) ・他の場所で使うもの(ボール) ・必要数より多い数のもの(たくさんあるものさし) <p>* 必要数は、それぞれの基準でご対応ください</p> </div> <p>【発問】 ・机の中に必要でないものがいくつかありますね。どれが必要でないですか？ ※必要でないものを指摘させる</p> <p>・ゴミ、ボール、ものさしですね。どうして机の中に必要でないのですか？ ※ゴミ・・・捨てるものだから ※ボール・・・そこでは使わないものだから ※ものさし・・・必要以上あるものだから だということを確認する</p> <p>・机の中に入れる必要がないものは、どうすればいいですか？ ※ゴミなど捨てるもの・・・ゴミ箱に捨てる(分別ゴミ、資源ゴミに出す) ※ボールなどそこでは使わないもの・・・別の場所にもっていく ※ものさしなど必要以上あるもの・・・ ”</p> <p>【説明】 ・では、取り除く時のポイントについて、ワークシートに書いてみましょう ※ワークシート1-2)に記入させる</p>

		<p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】 ・今、絵で整理の練習をしました。もし、みんなが机の中のものを全然整理しななければどうなると思いますか？ ※ものがいっぱいになる、何を持っているのかがわからなくなる ※ものが出しにくい ※イライラする、勉強に集中できない などの答えが予想される</p> <p>【発問】 ・そうですね。整理をしなければ、大変なことになりますね。では整理をしたら、どんないいことがありますか？ ※何人かの児童に発表させる</p> <p>【説明】 ※何をもうっているのかがわかる ※取り出しやすい ※気持ちがいい、勉強がしやすくなる など</p> <p>・整理をしたら、気持ちよく暮らせるようになりますね。だから、整理をすることはとても大切なことなのです</p>
<p>実習 20分</p>		<p>ねらい</p> <p>●机の中のものを整理・整頓する</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈実習の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2枚のカード(必要、必要でない)を置く ②机の中のものを出す ③必要なもの、必要でないものに分ける ④必要でないものを取り除く <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱に捨てる ・別の場所にもっていく ⑤必要なものを戻す ⑥整頓する <p>* ここでは整理前のものを椅子の上、整理後のものを机の上に置いているが、広い場所で新聞紙などを敷いて行ってもよい</p> </div> <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【説明】 ・練習をしてみて、整理のことが分かってきましたか？今度はみんなの机の中の整理をやってみましょう</p> <p>・ここに整理をするときに、便利なカードがあります。…『必要』カード、『必要でない』カードです。これを使ってやってみます ※2枚のカード(必要、必要でない)を配る</p> <p>【説明】 ①2枚のカード(必要、必要でない)を置く ・必要と書いてあるカードを机の左側に置いてください。必要でないと書いてあるカードは机の右側に置いてください</p> <p>②机の中のものを出す ・まず、机の中のものを椅子の上に出します。教科書やノートは机の中に残しておいてもかまいませんが、プリントやゴミなどが挟まっている場合は出して ください ※場所に余裕があれば、教科書やノートも一緒に整理する</p>

	<div data-bbox="220 967 545 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">整とんする </p> <p style="text-align: center;">◆ものを、整った状態にすること</p> <p style="text-align: center;">同じ向きにならべたり まっすぐに、そろえたり するといいよ！ </p> </div> <div data-bbox="247 1276 502 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">ワークシート1-3)</p> </div>	<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>③必要なもの、必要でないものに分ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の中のものが出せたら、整理を始めてください。ひとつひとつ、必要なものか必要でないものかを考えて、カードの所に置いていきます ※分けたものを机の上に置いていく ※判断に迷っているものや、判断が間違っているものがあれば声かけをしてください ・2つに分けましたか。隣の人が分けたものを見て、お互いに気づいたことや感じたことを話し合ってみましょう ・どんなことを話しましたか ※人によって、持っているものや数、不要なものが違うなど <p>④必要でないものを取り除く（ゴミ箱に捨てる、別の場所に移動させる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、必要でないものを取り除きましょう。 ゴミなど捨てるものはありましたか。それは捨てましょう。 次に、他の場所で使うものや、必要以上に持っていたものがあれば、別の場所に持っていきましょう。家に持って帰るものはそのようにしてください <p>⑤必要なものを戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机の上には必要なものだけが残りましたね。では、机の上のものを机の中に戻しましょう <p>⑥整とんする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入れ方にも気をつけてみましょう。同じ向きに並べたり、まっすぐに揃えたりすると、きれいに見えるし、取り出しやすくなります ※実際に先生が教科書を整えるなど、活動で示してください ・では、みんなもやってみましょう ・みんながしてくれたように、<u>ものを整った状態にすることを整頓</u>といいます ・ワークシートに記入しましょう ※ワークシート1-3)に記入させる
<p>まとめ 5分</p>	<div data-bbox="247 1713 502 1769" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">ワークシート1-4)</p> </div>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●学習したことを振り返る</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、机の中の整理・整頓をしましたね。やってみて、どうでしたか ※すっきりした、気持ちがいいなどの言葉を引き出す ※時間に余裕があれば、授業の導入でしたように、机の中のものをいくつか取り出して、取り出しやすくなったなどの変化を体感させる <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業で、初めて知ったこと、気づいたこと、驚いたことなどを、ワークシートに書きましょう ※ワークシート1-4)に記入させる <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理をすると、何がどこにあるか、すぐにわかるし、必要なものをすぐに取り出すことができますね。そしてすっきりして気持ちがいいですね。 次の時間は教室をもっと気持ちよくする方法を勉強するので、楽しみにしてください。



やってみよう つくえの中の整理・整とん

()年()組()番 名前()

1) 身の回りを気持ちよくするための活動を書こう！

整理する

◆そこに^{ひつよう}必要なものかどうかを
考える

◆^{ひつよう}必要でないものをとりのぞく
ことだよ！



右のふき出しの中の言葉の意味をおさえながら、言葉を記入させてください。

2) 取りのぞくときのポイントを

ゴミなど
すてるもの

ゴミ箱 にすてる

そこで
使わないもの

別の場所 にもっていく

^{ひつよう}
必要以上
あるもの

3) 身の回りを気持ちよくするための活動を書こう！

整とんする

◆ものを^{ととの}整った^{じょうたい}状態に
することだよ！



右のふき出しの中の言葉の意味をおさえながら、言葉を記入させてください。

4) はじめて知ったこと、気づいたこと、
^{じゅぎょう}授業の感想を書こう！

振り返りの時間に、なるべく具体的に書くようにながしてください。

児童1人につき、必要、必要でないカード(2枚)をお配りください。人数分印刷して、切り取ってお使いください。また、授業での使用后、別の場所の整理をさせる際にも、ご活用ください。

ひつよう
必要

その場所に必要なもの

ひつよう
必要でない

ゴミなどずてるもの → } 別
ここで使わないもの }
必要以上あるもの

ひつよう
必要

その場所に必要なもの

ひつよう
必要でない

ゴミなどずてるもの → } 別の場所に
ここで使わないもの }
必要以上あるもの

授業2 教室のかたづけをしよう

授業2では、片付いていないとどのように感じるかを実感し、片付けの意味・必要性について学習します。また実際に教室内を片付ける活動を通して、その方法を習得し、教室の整理・整頓・片付けがされている状態は快適であることへの気づきを促し、今後の学校や家庭での生活につなげるようにします。

進行概要

	min	概要
導入	10	授業1を振り返り、教室の整理、整頓をする 片付けへの関心を高める
展開	10	片付けの意味・必要性を理解する
実習	15	教室の整理・整頓・片付けをする
まとめ	10	学習したことを振り返る

使用教材



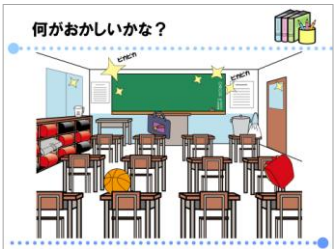
	タイトル	仕様	概要	使用	
①	スライド教材 (教室のかたづけをしよう)	Microsoft® PowerPoint®	13画面	授業の流れに従って児童の活動を導く、授業進行に活用する教材	教師
②	ワークシート (教室のかたづけをしよう)	Microsoft® Word® (A4サイズ)	1枚	片付けの意味を確認し、授業を振り返るワークシート	児童

準備物

配付資料: ワークシート1

機材: ・パソコン(スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター

「教室のかたづけをしよう」 進行ガイド

	使用教材		流れ
導入 10分	  	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●授業1を振り返り、教室の整理、整頓をする ●片付けへの関心を高める
		進行・教師の投げかけ	<p>【発問】 ・前の時間に勉強したことは、どんなことでしたか ※机の中のを整理・整頓したことを振り返る</p> <p>【説明】 ・机の中のを整理・整頓してきれいになりましたね。今日はみんなで教室をきれいにしようと思います。今から、勉強したことを生かして教室をきれいにしましょう ※時間を決めて、ロッカーや棚などを自由に整理・整頓させる</p> <p>・席に戻ってください。教室はきれいになりましたか？どんなことをしましたか？ ※ゴミを捨てた、違う場所に移動させた など</p> <p>【発問】 ・今みんなは教室を整理・整頓してきれいになりました。他にも教室をきれいにするためにみんなが毎日してくれていることがあります。何でしょう。 ※掃除だと気づかせる</p> <p>【発問】 ・掃除をして教室をきれいにしてきていますね。 (スライドの絵を見せて)この教室は掃除をしたばかりでピカピカです。でも、ちょっとおかしくないですか？何がおかしいのでしょうか？ ※置き場所がおかしいものがあることに気づかせる。</p> <p>・使ったものの置き場所がおかしいから、変に感じたのですね。 この絵の中で、ここに置いているとおかしいなあと思うものは何でしょう？ ※おかしいところを指摘させる</p> <p>【説明】 ・(左から)かばん、計量カップ、ボール、体操服袋、鍋、給食袋、ランドセルなどここに置いているとおかしいですね ※掃除ができていても、ものが出っぱなしでは気持ちよく感じないことに気づかせる</p> <p>・せっかく掃除をして教室がきれいになっているのに、残念ですね。どうしたら気持ちいい教室になるのか、今日はみんなで考えたいと思います。</p>
展開 ① 10分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●使ったものを戻すには、戻す場所が決まっていることが必要だと確認する ●片付けの意味・必要性を理解する
		進行・教師の投げかけ	<p>〈戻す場所を確認する〉 学校で使うものには戻す場所が決まっていることを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> * クラスのものを戻す場所を聞く (本、大きな定規、ゴミ箱、ボール、エプロン袋など) * 個人のを戻す場所を聞く (体操服袋、水筒、リコーダー、ランドセルなど)



【発問】

・クイズをします。スライドを見てください。ここにあるものは、使った後どこに戻せばいいでしょう

※置き場所を確認する

※ここは児童の興味を高める取り組みなので、簡単に楽しく伝える

【説明】

・全て、使ったあとに戻す場所が決まっていますね。使ったらどこに戻すのかな？ということを考えながら 今から、話を聞いてください

〈黑板消しを探す〉

戻す場所が決まっていないと不便だということを実感させ、片付けの意味について気づかせる

* 事前に黑板消しを、いつもと違う場所に移動させておく

【説明】

・今日することを前に書きます。片付けてって・・・

※わざと書き間違えて、黑板消しを探す

・あれ？黑板消しがない！みんな知らない？みんなも探してくれる？

※見つける

・あ、こんなところにありました

※黑板消しで消した後、わざと先程とは違う場所に置く

・では、片付けてって・・・、あ、また間違えた

※もう一度、書き間違えて、探して、見つける

【発問】

・先生は、今日、黑板消しを探してばかりいますね。先生は、どうすれば黑板消しを探さなくてよくなると思いますか

※黑板消しを決められた所に戻す、などの意見を聞きだす

【説明】

・黑板消しを決められた場所に戻すと探さなくてもいいですね。これから、黑板消しは、ここに置きますね

※黑板消しを戻す場所を確認する

【説明】

・このように、使ったものを、決められた場所に戻すことを片付けると言います。

ワークシートに書きましょう

※片付けの意味を理解する

※ワークシート1-1)に記入させる

・片付けをするためには、戻す場所を知っていること、そして意味が分かるだけではなくて、使ったらいつも決められた場所に戻すことが大切なのです

【説明】

・もう一度、教室の絵を見てみましょう。この教室は、掃除は出来ていたけれど、片付けができていませんでしたね

【発問】

・この絵のように、先生やみんなが、学校で使ったものを片付けなくて、出したままにしていたらどうなるでしょう

※探さないといけない、時間がかかる

※散らかった感じがする、きれいに見えない

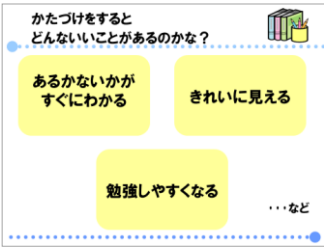


※イライラする、勉強に集中できない などの答えが予想される



ワークシート1-1)



進行・教師の投げかけ

		<p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【説明】 ・片付けをしなかったら、後からが大変ですね。では片付けをすると、どんないいことがあるでしょう ※何人かの児童に発表させる</p> <p>【説明】 ※ものが、あるかないかがすぐにわかる ※片付いた感じがする、きれいに見える ※気持ちがいい、勉強がしやすくなる など</p> <p>【説明】 ・片付けをしたら、気持ちよく暮らせるようになります。だから、片付けをすることはとても大切なのですね</p>
<p>実習 15分</p>		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教室の片付けの状態を見直す ●教室の整理・整頓・片付けをする <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】 ・さあ、教室を見直してみよう！ 授業の前に整理・整頓をしてくれましたが、片付けはできていますか。決められた場所にちゃんと戻せていますか？ ※授業の初めに整理・整頓をした場所の片付けの状態を確認する</p> <p>【説明】 ・今から、みんなに教室をもっときれいにしてもらいます。その前に、整頓について、もう少し、説明します。たとえば、本棚の本を整頓する時にはいろんな並べ方があります。高さ順、あいうえお順、番号順など、使いやすい順番に並べるといいのです。みんなの教科書は、授業の順番に並べてもいいですね</p> <p>・では、みんなでグループに分かれて、教室の整理・整頓・片付けをしましょう ※時間を決めて、全員で、教室内や教室の周辺(廊下にあるロッカーなど)の整理・整頓・片付けをする ※グループや場所は、状況に応じて決めてください</p> <p>【説明】 ・みんな教室を見てみましょう。どんな風に感じましたか ※時間がある場合は、グループでどんなところをやったか発表させる</p>
<p>まとめ 10分</p>		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習したことを振り返り、今後の実践に生かせるようにする <p>進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】 ・教室をきれいにしたら、気持ちよくなりましたね。 みんながやってくれた、気持ちよくするための活動には何がありましたか</p> <p>【説明】 ・整理・整頓・片付けでしたね。普段みんながしてくれている「掃除」も気持ちよくするための活動です ※掃いたりふいたりして、ごみや汚れをなくしてきれいにするのは『掃除する』</p> <p>・身の回りを気持ちよくするための活動は、いろいろあるのですね ・前の授業と今日の授業で勉強したことを、絵を見ながら復習しましょう</p>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>整理する</p> <p>◆そこに必要なものかどうかを考える ◆必要でないものを取りのぞく</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>整頓する</p> <p>◆ものを、整った状態にすること</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>かたづける</p> <p>◆使ったものを、決められた場所に もどす</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>教室をいつもきれいにしようね！ 家でもやってみようね！</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>ワークシート1-2)①②</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ワークシート1-3)</p> </div>	<p style="text-align: center;">進行・教師の投げかけ</p> <p>【発問】</p> <p>①整理がされていないロッカー → 整理されたロッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左のロッカーをきれいにするには何をしたらいいですか ・そこに必要なものかどうかを考えること、そして必要でないものを取り除くことは『整理する』でしたね。 <p>②整頓がされていないロッカー → 整頓されたロッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度はちょっとランドセルの向きがバラバラです。何をしたらいいですか ・ものを整った状態にすることは『整頓する』でしたね。 <p>③片付けがされていないロッカー → 片付けられたロッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出しっぱなしのランドセルがあります。何をしたらいいですか ・使ったものを決められた場所に戻すことは『片付ける』でしたね <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・整頓・片付けについて、みんな、しっかり勉強してくれました。教室もきれいになりました。これを続けていきたいですね。ワークシートを使って、授業を振り返りましょう。どんなことを感じたか書いてください <p>※ワークシート1-2)①②に記入させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことを生かして、これからお家ではどんなことをやってみたいか、ワークシートに書いてください <p>※ワークシート1-3)に記入させる</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かに聞いてみましょう。みんなどんなことをやってみたいですか <p>※ワークシートの項目について、何人ずつかに発表させる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんないろいろなことを考えましたね。お家でやってみようと思うことは、忘れないうちに、今日からでもすぐにやってみてください。もちろん学校でも、これからも整理・整頓・片付けを続けて、いつもみんなでき持ちよく過ごしましょう
---	--



教室のかたづけをしよう

()年()組()番 名前()

1) 身の回りを気持ちよくするための活動を書こう!

かたづける

◆使ったものを、決められた場所にもどすことだよ!



右のふき出しの中の言葉の意味をおさえながら、言葉を記入させてください。

2) 整理・整とん・かたづけの授業を^しり返って

①授業^{じゅぎょう}で一番心^{のこ}に残ったことを書こう!

2時間の授業を振り返って、なるべく具体的に書くよう、うながしてください。

②どうして整理・整とん・かたづけが必要なのか、自分の考えを書こう!

困っている児童には、学習したことを思い出させながら、記入させてください。

3) 勉強したことを生かして、これからお家でやってみようと思うことを書こう!

整理・整頓・片付けに関して、具体的な場所(例えば、自分の部屋のおもちゃ、弟の机の中など)を挙げて、記入させてください。

